

青森県子どもの居場所づくりコーディネーター養成講座
第2日目①講座

保育園・認定こども園の 現場について



社会福祉法人あおもり愛育会
一般社団法人青森県保育連合会会長
理事長 渡邊 建道



本講座の流れ

1. 保育の基礎知識（あゆみとしくみ）
2. 保育現場のようす
3. 保育のみらい

おはよう！元気ですか？

【バイタルチェック】

・呼吸・心拍(脈)・意識・体温・血圧

・尿量・瞳孔

*顔色 *匂い *機嫌 *全身的表情



保育中の子どもの様子、どこを「みる」？

「みる」・・・「見る」「観る」「診る」「視る」「看る」

- 子どもは「遊ぶ」「食べる」「眠る」が基本。
- 多少の熱や下痢があっても、機嫌よく遊び、もりもり食べ、よく眠っていれば、それほど心配することはない。
- 何となくだるそうにしている、食欲がない。あやしても泣き止まない、すぐに起きてしまうような「**機嫌が悪い**」状態は異常を示すサイン。
- 本調子でないと思った場合は、**更にどこがおかしいのか**観察が必要。



目、口、鼻、耳、
尿、便、肌

呼吸、心拍、
意識、体温、
血圧

1. 保育の基礎知識

1) あゆみ(歴史)

来年で

130年



1890年(明治23年)

託児所としてスタート ※幼稚園 1876年(明治9年)

1938年(昭和13年)

社会事業法に「児童保護ヲ為ス事業」として「託児所」を簡単に位置づけ

1947年(昭和23年) 児童福祉法に「保育所」が法定化

「日々保護者の委託を受けて、**保育に欠けるその乳児又は幼児**を保育することを目的とする施設」(第39条第1項)

1960年(昭和35年)～1970年(昭和45年)頃

高度経済成長・共稼ぎの増加 → 「**ポストの数ほど保育所を**」

1978年(昭和53年)～1994年(平成6年)頃

第2次ベビーブームの落ち着きと共に利用児が減少

1995年(平成7年)以降

バブル崩壊による共稼ぎの急増により一転して利用児は増加へ

2000年(平成12年)頃～

待機児童問題が年々深刻化

一方で地方財政の悪化により公立保育所の廃止・民営化が進む

青森県の公立保育所数 1980年 179ヶ所 → 2018年 6ヶ所
(指定管理4ヶ所除く)

2010年(平成17年)頃～

全国で保育士不足が深刻化

2015年(平成27年)

子ども・子育て支援新制度(質と量の両面からの充実を図る)

2016年(平成28年)

衝撃的なブログ「保育園落ちた日本死ね」

2019年(平成31年)

幼児教育と保育の無償化スタート

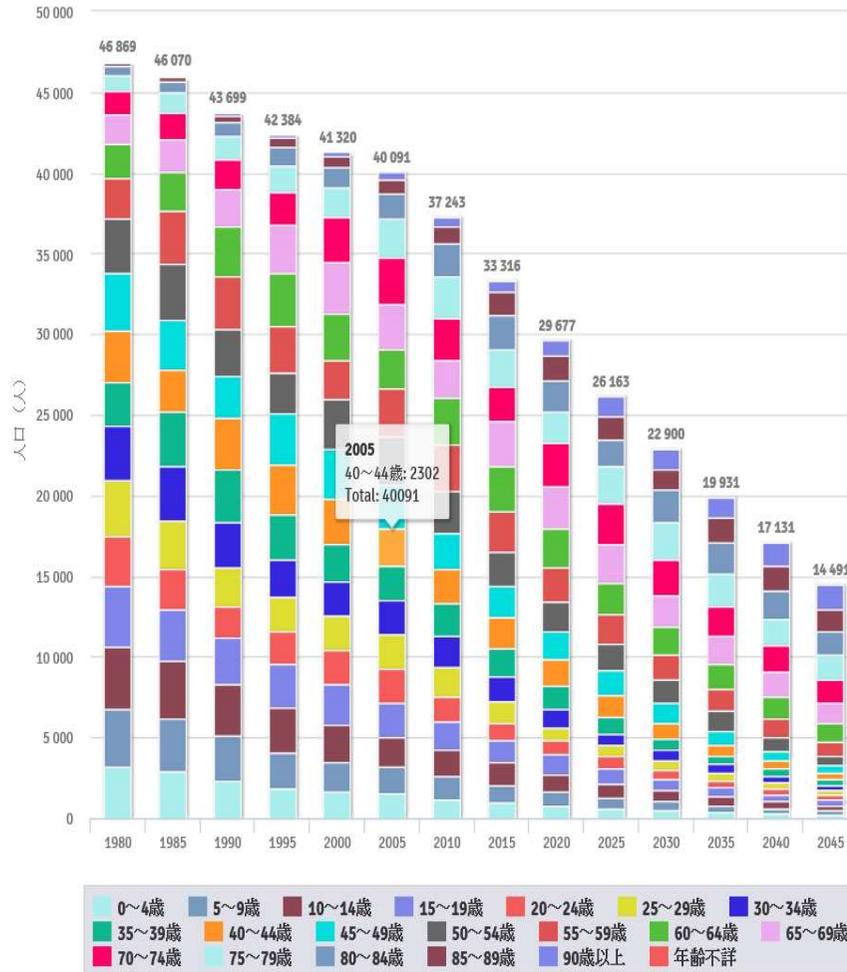


人口減少社会の到来

20年後、0～4歳は現在の3分の1に減少

つがる市の年齢別人口の推移

出典: 国勢調査を独自集計、「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)



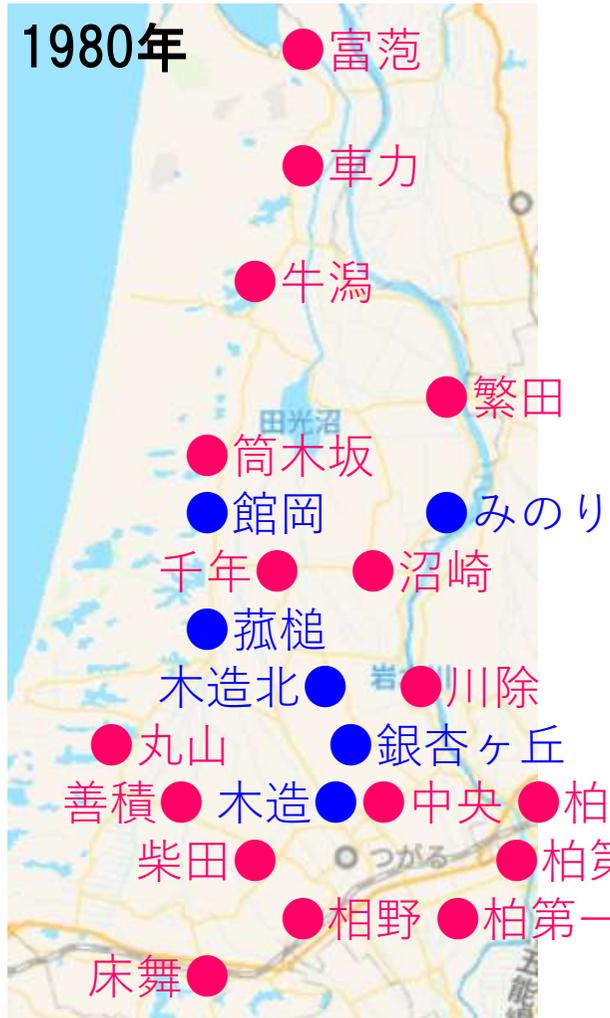
つがる市の将来推計人口(2015年～2045年)

年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
総数	33316	29677	26163	22900	19931	17131	14491
0～4歳	923	747	581	456	353	267	214
5～9歳	1129	887	716	559	438	338	256
10～14歳	1422	1099	863	698	544	426	329
15～19歳	1396	1200	924	724	586	456	357
20～24歳	1035	852	733	563	442	357	278
25～29歳	1304	837	689	592	456	357	288
30～34歳	1609	1152	741	609	523	401	315
35～39歳	1749	1470	1053	678	556	478	366
40～44歳	1866	1615	1357	973	625	514	440
45～49歳	1938	1733	1502	1264	906	583	479
50～54歳	2140	1849	1654	1435	1208	867	558
55～59歳	2507	2067	1788	1599	1390	1171	840
60～64歳	2773	2430	2009	1740	1558	1356	1143
65～69歳	2804	2654	2334	1938	1681	1506	1314
70～74歳	2151	2646	2510	2218	1854	1611	1445
75～79歳	2346	1932	2388	2276	2026	1700	1482
80～84歳	2129	1948	1619	2021	1939	1746	1475
85～89歳	1432	1568	1470	1236	1570	1523	1396
90歳以上	663	991	1232	1321	1276	1474	1516
年少人口	3474	2733	2160	1713	1335	1031	799
年少人口割合(%)	10.4	9.2	8.3	7.5	6.7	6.0	5.5



つがる市の例

保育所が激減する青森県（つがる市の例）



公立 18ヶ所
私立 6ヶ所
(幼稚園3)



公立 0ヶ所
私立 13ヶ所
(幼稚園2、企業主導型1)



2) しくみ

保育を必要とする子どもの受け入れ先

- ① 保育所(保育園) 児童福祉施設 約220ヶ所
- ② 認定こども園 287ヶ所
 - ア、幼保連携型認定こども園 児童福祉施設・学校 227ヶ所
 - イ、保育所型認定こども園 児童福祉施設 34ヶ所
 - ウ、幼稚園型認定こども園 学校 26ヶ所
 - エ、地方裁量型認定こども園 0ヶ所
- ③ 幼稚園 学校 約60ヶ所
- ④ 地域型保育事業 約10ヶ所
- ⑤ 企業主導型保育事業(所) 15ヶ所
- ⑥ 認可外保育施設



保育所等の入所要件

保護者の居宅外就労、保護者の居宅内労働、
産前産後、保護者の傷病または心身障害、同居親族の介護、
災害の復旧、保護者の修学、求職中(概ね2~3ヶ月)等

保育・幼児教育の3つの受け皿+αのしくみ

◆ 幼稚園 小学校以降の教育の基礎を



つくるための幼児期の教育を
を行う学校【60】

利用できる子ども 3～5歳
利用できる時間 朝～昼過ぎ
利用できる保護者 制限なし

◆ 保育所 就労などのため家庭で



保育できない保護者に代わ
って保育する施設【220】

利用できる子ども 0～5歳
利用できる時間 朝～夕方
利用できる保護者 就労など

◆ 認定こども園 教育と保育を一体 的に行う施設【287】



- ①保護者の状況に関係なしに
3～5歳のどの子どもも、
教育・保育を一緒に受ける。
- ②保護者の状況が変わっても
継続利用が可能。
- ③原則として子育て支援の場が
用意されている。
- ④**幼保連携型**の他、**保育所型**、
幼稚園型、**地方裁量型**がある。

◆ 地域型保育 少人数の単位で 0～2歳児を預かる事



- ①家庭的保育事業
- ②小規模保育事業
- ③事業所内保育事業
- ④居宅訪問型保育事業

注視したい！

企業主導型保育事業(認可外)
の急増(2年で15カ所に)

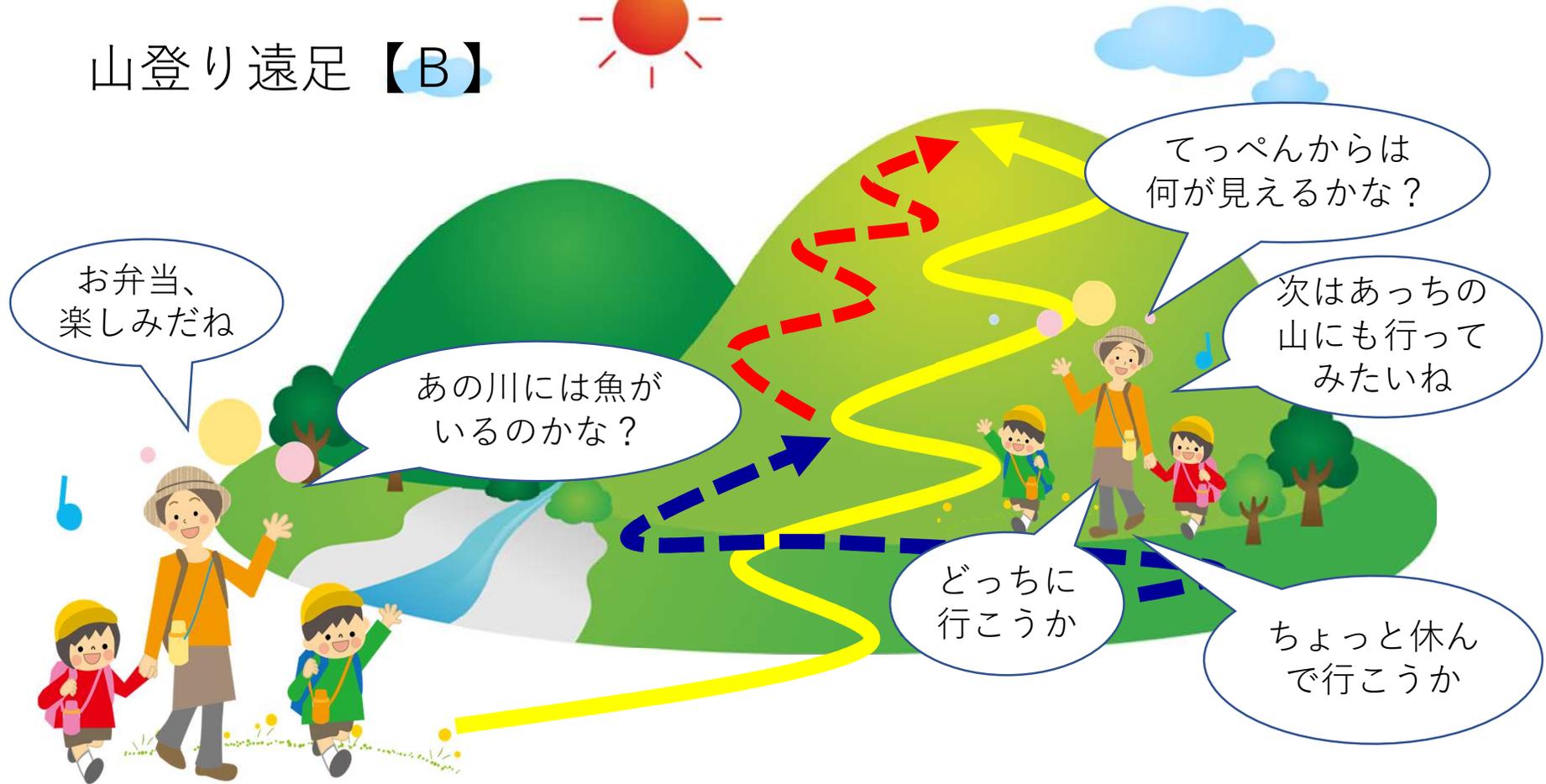
【参考】あらためて保育と教育を考える

日頃どんな保育をしていますか？

山登り遠足【A】



山登り遠足【B】



A	指導的、管理的、一律的、強制的	教育的・学校的
B	自主的、協働的、個別的、探索的	養護的・保育的

岡健先生（大妻女子大学教授）の見解を元に構成しています。

2. 保育現場のようす

1) いろいろな子どもたちがいます

生後**6週**から**満6歳**まで(学童保育は**小6**まで)

さまざまな**家庭**状況(家族・環境・養育方針・経済状況、要望・苦情等)

さまざまな**心身**状態(情緒面、発育・発達面、障がいやアレルギー等)

利用時間・日数も**さまざま**

1号認定:教育を必要とする(保育を必要としない)満3歳以上の子
(月～金:原則5時間)

2号認定:保育を必要とする3歳以上の子(月～土:11時間が標準)

3号認定:保育を必要とする3歳未満の子(同)

*教育=学校教育 *保育=児童福祉としての養護・教育

保育所・認定こども園と幼稚園の垣根がなくなりつつある

特に保育所・認定こども園においては「**教育的な活動の充実**」が進む

地域子育て支援や一時保育を利用する子どもも一定数いる

幼児教育と保育の無償化によって満3歳や3歳過ぎからの入園が増加?

集団での保育といえども、**専門的な個別の支援が不可欠!**

2) いろいろな保護者がいます

理解的・協力的な方がほとんど
クレーム好き・くどい人もいるが、**モンペは意外と稀**（というよりもほとんどいない）

→ クレーマーやモンペは、**園の経営体質や
職員風土・文化によって育ってしまう？**



最近の気になる保護者の傾向

- ・鬼アプリ、You Tube動画等に頼る「**スマホ・タブレット育児**」が増殖中
- ・特に父親からのDVが増えている
- ・虐待や不適切な養育も珍しくない（特に**面前DV・ネグレクト**）
- ・精神疾患や発達障害の方も多くなっている
- ・**無駄遣い**（リボ払い、ネットによる購入等）による生活苦からの**保育料や利用料の滞納も深刻化**しつつある
- ・動画撮影やSNS投稿には気が抜けない

子育ての前に、
親育てが重要に
なっている！

3) いろいろな保育者がいます

子どもが大好きな、元気で明るく、優しい保育者が大半
保育士不足にもめげず、より良い子どもの育ちに向けて励む日々

保育職の**処遇改善が進む**中で

- ・離職率は低下しつつあり、保育者の平均年齢は上昇傾向に
- ・経験豊かな保育者による安定した育ちができる
- ・一方で、**保育スタイルや行事がマンネリ化する傾向も懸念**される

最近の気になる保育者の傾向

- ・我慢強くない、打たれ弱い、生活体験の少ない若手保育者
- ・楽(らく)な施設(小規模・企業主導型)や他業種へ転職機会を窺う者
- ・保育者に向いていない者(**不適切な保育事案の散発**)
- ・学びの機会が少なく(**管理者次第?**)、
知識・技術・判断力が弱い者

いかにして人材を
確保し、育成する
かが課題に!



みどりの風こども園ひろたの現況を例に

園児171人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1号			9人	9人	9人	13人	40人
2号				21人	19人	16人	56人
3号	19人	33人	23人				75人

職員46人

園長	主幹	副主幹	保育教諭	看護師	栄養士	調理員	保育士等	事務員	その他
1人	1人	1人	25人	1人	2人	2人	10人	1人	2人

実施している保育・活動等

通常保育(教育的活動:文字・数、英語、和太鼓、水泳、版画、園外保育)

延長保育、休日保育、障害児保育、一時保育、乳児保育(生後8週～)

地域子育て支援(育児相談、体験保育、情報提供、関係機関の紹介・連携等)

姉妹園連携・交流(みどりの風こども園かなぎ・あとむ、たていし愛児園)

病後児保育(つがる総合病院前)、学童保育(旧園舎:みどりの風オアシス)

地域貢献活動(子ども食堂、独居高齢者への弁当宅配、青森しあわせNW、災害時における子ども・女性福祉避難所等)

みどりの風オアシスの活動場所

拠点：五所川原市みどり町2-45-1 活動エリア：栄小学校区



3. 保育のみらい

保育園・認定こども園は地域の**重要な社会資源**の1つ

保育が地域になれば、地域における仕事も生活も福祉も成り立たない

- 過疎地・人口激減地域での保育施設経営をどう維持していくか
- 都市部における待機児童問題をいつまで放置しておくのか

子ども・保護者を保育施設だけで支えることは不可能

地域共生社会の実現に向けて、地域包括ケアシステムの一員として、他の機関との連携がとても重要

- 医療・介護・福祉・保育・教育・文化・産業・行政等のネットワークを市町村が構築できるのか

いつの時代も子どもは**宝**であり**光**である

子どもの夢は私たち大人の希望、子どもの将来はこの国の未来

幼い子どもたちほど大事に育まれなければならない

その意味で、保育は今後ますます重要な意味を持つ

- 保育のみらいこそ、この国の未来であり、**みんなの課題** [了]

ご清聴ありがとうございました。